

森町都市計画マスタープラン

2020-2040

森町の「豊かな暮らし」を描く

令和2年3月
静岡県森町



はじめに

「『医・職・住』×『交流』のまちづくり」をめざして ～森町における豊かな暮らしの維持～

我が国では、近年、人口減少・少子高齢化社会の到来、東日本大震災など大規模な自然災害や新たな感染症の発生、ライフスタイルの多様化など、社会を取り巻く状況が大きく変化しています。

このような社会動向に対応するため、国は、公共公益施設や生活利便施設等と居住機能を集約し、これらを公共交通で繋ぐ「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」によるまちづくりを推進しています。



当町におきましては、平成 24 年に新東名高速道路の供用開始に伴い、森掛川インターチェンジ、遠州森町パーキングエリアが開設され、さらに平成 26 年には遠州森町スマートインターチェンジが開設されたことで、交通体系や人の流れが変わり、観光、産業等を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした背景を踏まえ、平成 29 年 3 月に第 9 次森町総合計画を策定しました。この計画に掲げたまちの将来像「住む人も訪れる人も『心とらぐ森町』」の実現に向け、本町の歴史、文化、自然、産業などの地域資源や新東名高速道路を活用した交流人口の増加や新たな産業の振興など、住んでいる人だけでなく訪れる人にとっても魅力的なまちづくりを進めているところです。

今回、10 年後 20 年後の森町を見据え、コンパクトで持続可能なまちづくりのため、森町都市計画マスタープランを改定するとともに、居住機能や公共公益施設及び生活利便施設など都市機能の維持・誘導を図るため立地適正化計画を策定しました。

今後は、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、「『医・職・住』×『交流』のまちづくり」をテーマとして、豊かな暮らしの維持に取り組んでまいります。

結びに、改定にあたりまして、有識者会議にご参画いただいた委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただいた皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本計画の実現に向けて、今後とも市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月

森町長 太田 康雄

目 次

序 都市計画マスタープランについて	1
1. 都市計画マスタープランとは	1
2. 計画改定の背景	1
3. 計画の基本的事項	2
4. 計画の構成	4
第1章 森町の現況と課題	5
1. 森町の特長	5
2. 森町の現況と課題	8
3. まちづくりの課題	27
第2章 全体構想	29
1. まちづくりの方向	29
2. まちづくりのテーマ	32
3. まちの規模	33
4. まちの形	34
5. まちづくりの分野別方針	48
5-1. 土地利用の基本方針	48
5-2. 道路・交通の基本方針	54
5-3. 都市環境の基本方針	60
5-4. 景観形成の基本方針	66
5-5. 防災都市づくりの基本方針	72
5-6. まちの持続・運営の基本方針	77
第3章 地域別構想	79
1. 地域別構想とは	79
2. 地域別まちづくり構想	80
2-1. 森地区	80
2-2. 一宮地区	88
2-3. 園田地区	94
2-4. 飯田地区	100
2-5. 三倉地区	106
2-6. 天方地区	112
第4章 計画の実現に向けて	119
1. 「協働のまちづくり」の推進	119
2. 実現に向けた取組	122
3. 計画の進捗管理	124
巻末	125
1. 策定の体制及び経緯	125
2. 用語の解説	129

